






仕 様 書

業務名 奈良先端大特別管理産業廃棄物（実験廃液等）収集運搬及び処分業務

令和8年1月

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学管理部施設課				
課 長	課長補佐	係 長	専門職員	担 当 者
				

1. 一般事項

- (1) 業 務 名 奈良先端大特別管理産業廃棄物（実験廃液等）収集運搬及び処分業務
- (2) 収集場所 奈良県生駒市高山町8916番地の5
国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学構内（別紙1）
- (3) 業務期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日
ただし、上記業務期間中に収集した産業廃棄物の「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」について、上記業務期間を過ぎる場合は、提出をもって業務完了とする。
- (4) 業務概要 本学が排出する産業廃棄物のうち、実験研究活動に伴い排出する実験廃液等（以下「廃棄物」という。）を廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）第14条第1項の許可（産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業許可）を受けた者（以下「収集運搬受注者」という。）及び法第14条の4第6項の許可（産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処分業許可）を受けた者（以下「処分受注者」という。）によって、適法かつ適正に処理を行う。

2. 業務仕様

(1) 基本的事項

1) 収集運搬業務

- a) 収集運搬受注者は、廃棄物を別紙1に示した収集倉庫から収集運搬用貨物自動車への廃棄物の小運搬を行い、法及び関係法令に従って、適正に収集運搬を行う。
- b) 収集運搬受注者は、収集用のポリ容器を用意し、回収時には新たに補充する。用意するポリ容器の個数は奈良先端科学技術大学院大学（以下「発注者」という。）がその都度指定する。また容量・形状は、発注者の指示や業務上の支障がない限り、20L長方形ポリ容器を標準とする。
- c) 収集運搬受注者は、危険物等で収集用のポリ容器以外の専用容器が必要な場合は、回収時に収集運搬用の専用容器を用意する。
- d) 収集運搬受注者は、発注者が収集運搬用の専用容器を用意した場合においても同様に収集運搬を行う。ただし、容器の形状、材質は事前に発注者と協議して実施するものとし、原則的に容器の返却は行わなくてよいとする。
- e) 収集運搬受注者は、事前に発注者からの回収依頼を元に必要事項を記載した「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」を回収日に持参する。なお、発注者は記載内容を確認の上、署名を行う。
- f) 収集運搬受注者は、署名された産業廃棄物管理票（A票）を、収集運搬を行う前に発注者の管理部施設課に提出する。
- g) 収集運搬受注者は、許可を得た収集運搬用貨物自動車を使用して処分地まで運搬の上、処分受注者に引き渡す。

- h) 収集運搬受注者は、発注者から連絡があった場合に、速やかに廃棄物の収集運搬を行う。
- i) 収集運搬受注者は、廃棄物の収集運搬に当たるときは、発注者の指示に従って行う。
- j) 収集業務は、原則として本学の勤務時間内（平日 8 : 30 ~ 17 : 15）に行う。
- k) その他、法及び関係法令に従って適正に処分する。

2) 処分業務

- a) 処分受注者は、収集運搬受注者から引き渡された廃棄物に関して、環境負荷低減を考慮し、なるべく再資源化されるような処分方法とする。
- b) その他、法及び関係法令に従って適正に処分すること。

(2) 廃棄物の種類、年間予定排出量及び予定収集運搬回数

別紙 2 のとおり

(3) 業務の履行

収集運搬受注者及び処分受注者（以下「受注者」という。）は、廃棄物受領後速やかに収集運搬又は処分を行い、業務完了の都度その事実を「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」により証明し、発注者宛に送付する。

(4) 請負代金の支払い

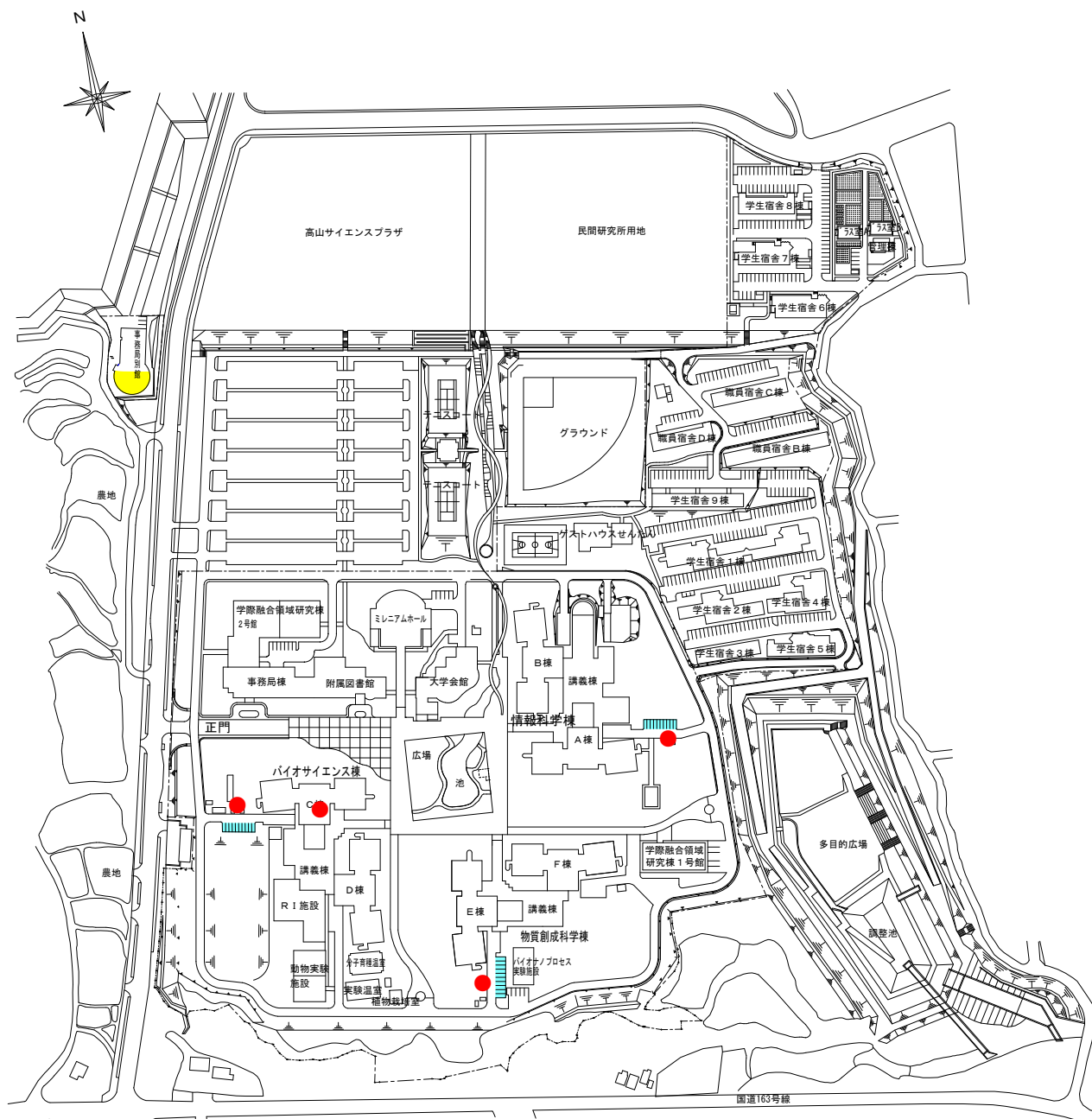
産業廃棄物管理票（A 票）と処分受注者から処分後返送される産業廃棄物管理票（D 票若しくは E 票）の照合確認後、各月の業務履行分毎に発注者の管理部会計課から支払う。なお、支払額は契約項目毎の契約単価と実際排出量の積和とする。

(5) その他

- 1) 受注者は、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処分業許可証の許可内容に変更が生じたときは直ちに発注者に届け出る。
- 2) 受注者は、発注者からの求めに応じ、運搬先及び処分先での状況が確認できる写真を撮影し、発注者に提出する。
- 3) 受注者は、発注者からの求めに応じ、収集運搬及び処分方法が法及び関係法令に従っていることを説明し、それを証明する書類を発注者に提出する。
- 4) その他、業務遂行にあたって、本仕様書に記載のない事項及び不明な点は、その都度、発注者と協議して実施する。

3. その他

- (1) 受注者は、本業務の実施中に知り得た情報について、発注者の許可なく、第三者に漏らし又は他の目的に使用してはならない。このことは、本業務期間終了後も同様とする。
- (2) 産業廃棄物管理票及び請求書は業務完了後に発注者の管理部施設課施設管理係に送付する。
- (3) この契約についての必要な細目は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学工事請負等契約細則（別記第7号）役務請負契約基準を適用する。



- 印は収集倉庫(4箇所)
- 1) 屋外危険物倉庫(物質棟)
 - 2) C棟1階廃液倉庫(バイオ棟)
 - 3) 屋外少量危険物倉庫(バイオ棟)
 - 4) 情報棟廃棄物倉庫

■ 印は各サービス駐車場

■ 印は管理部施設課(事務局別館1階)

廃棄物の種類・年間排出量及び年間収集運搬回数(予定)

直近6年平均(R2.1～R7.12実績)

廃液名称	摘要	産業廃棄物の名称(※1)			年間 予定数量	単位
		分類コード	大分類	中分類・小分類		
可燃性有機(ハロゲン)廃液		7000	廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)		861	L
現像液		0501	廃アルカリ	写真現像廃液	89	L
定着液		0401	廃酸	写真定着廃液	118	L
可燃性有機(非ハロゲン)廃液		7000	廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)		4,543	L
廃酸(pHが2.0以下)廃液		7100	廃酸(pHが2.0以下の廃酸)		991	L
シアン廃液		7428	特定有害産業廃棄物	有害物質を含む廃アルカリ	33	L
重金属廃液		7100	廃酸(pHが2.0以下の廃酸)		89	L
廃アルカリ廃液		0500	廃アルカリ	廃アルカリ	101	L
廃酸廃液		0400	廃酸		185	L
砒素廃液		7427	特定有害産業廃棄物	有害物質を含む廃酸	1	L
セレン廃液		7427	特定有害産業廃棄物	有害物質を含む廃酸	14	L
廃アルカリ(pHが12.5以上)廃液		7200	廃アルカリ(pHが12.5以上の廃アルカリ)		270	L
ジクロロメタン及びその混合廃液	ジクロロメタン及び四塩化炭素、重金属、セレン・カドミウム、クロム、鉛、セレンの混合廃液	7425	特定有害産業廃棄物	有害物質を含む廃油	6,615	L
1,4ジオキサン及びその混合廃液	1,4ジオキサン及び四塩化炭素、重金属、セレン・カドミウム、クロム、鉛、セレンの混合廃液	7010	廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)	有害有害物質を含む燃えやすい廃油	73	L
有機リン廃液		7427	特定有害産業廃棄物	有害物質を含む廃酸	5	L
有機化合物廃液		0320	廃油	廃溶剤	53	L
無機化合物	酸化銅粉末等	0220	汚泥	無機性汚泥	2	kg
重金属等付着物(※2)	コバルト、チタン、銅、ラジウム、ベリリウム、鉛等	0604	廃プラスチック	プラスチック製品くず	25	kg
鉛蓄電池		7427	特定有害産業廃棄物	有害物質を含む廃酸	170	kg
リチウムイオン電池		0200	汚泥		3	kg
収集運搬					24	回

※ 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 1 3 条の 2 に指定された情報処理センターが指定するコード及び分類

※ 2 付着物は金属やガラス試験管、るつぼ、ビニール手袋等に付着しているため、重量のほとんどは主に金属やガラス及び廃プラスチック類の重量となる。
処理方法は「洗浄」等を適切に行い、金属・プラスチック類・可燃物類等の部分も適切に処分すること。